

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年12月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	"0173200585
法人名	有限会社 美深シルバー支援
事業所名	グループホーム びふか
所在地	中川郡美深町字南町25番地 (電話) 01656-2-1431

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成21年12月3日

## 【情報提供票より】(21年 11 月 8 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 2 月 21 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	22 人 常勤 18 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 7 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り
	1階建ての 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	250 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		900 円	

### (4) 利用者の概要( 8 月 1 日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	69 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	JA美深厚生病院・名寄市立総合病院・市立土別総合病院・瀬尾医院・松尾歯科・美深歯科
---------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームびふかは、国道40号より少し入った畑作地帯に位置した平屋建て木造の2ユニットとなっています。事務室には懐かしい蒔きストーブが置かれ、リビング食堂は広々としており利用者がそれぞれ落ち着ける場所が確保され、大きな窓からは畑や山など自然豊かな風景を見渡せます。家族会兼七夕祭りには、利用者・家族・地域住民が集まり、おでん・焼きそば・赤飯・フルーツ等の食事を頂き楽しい時を過ごします。クリスマス会には、利用者の好みのプレゼントを職員が用意しサンタに扮し渡したり、子供ボランティアによる民謡やかわいい踊りを見て、子供達と一緒にケーキを食べる等交流を深めています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回外部評価の課題の災害対策への取り組みの改善として、夜間災害に備え夜間体制の見直しについて話し合い取り組んでいます。避難訓練時に地域住民と一緒に訓練実施を予定していましたが、インフルエンザ流行等で実施出来ませんでした。地域住民の協力的体制作りに向け、継続課題とし取り組んでいます。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>施設長や管理者・職員はサービスの質の向上を目的とする取り組みとして認識しておりミーティングで話し合われています。自己評価は職員一人ひとりが行い、管理者が纏め作成しています。自己評価票や外部評価の結果についても、ホーム内の見易い場所に開示され、運営推進会議等で話し合われています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、地域住民代表、民生委員、利用者、利用者家族代表、包括支援センター職員、特養職員、施設長、管理者で構成し、2ヶ月に1度ホームの行事、利用者の概要や生活状況、外部評価等について報告し話し合われています。議事録も作成しており、参加者に配布しています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>玄関に意見箱を設置していますが利用はなく、職員は毎月請求書と利用者の心身状況、最近の食事摂取・医療受診状況、レクリエーション及び行事参加等について担当者が書いた手紙を添えて送っています。家族訪問時にも利用者の近況を伝え、家族が意見・要望等言い易い雰囲気作り努めています。また、年2回ホームたより「グループホームびふかたより」を発行しています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、忘新年会等参加しています。ホーム主催の七夕祭りに地域の方に案内を出し一緒に食事をしたり、地域の方から野菜を頂くなどの交流を図っています。美深夏祭りや地元のスーパーに買い物に出掛けています。専門学校生や美深高校の実習生の受入も行っています。</p>

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に根ざし、その人らしく生活していく事を支える事を基本に、自分達の思いを込めた理念を作成しています。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、玄関と、各ユニットリビング・事務室に掲示しています。申し送りやミーティング時に理念を振り返り、ケアの実践の確認としています。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、散歩時の挨拶や、スーパーやコンビニでの買い物、町のお祭りに参加等、地域との交流を図っています。美深高校や専門学校からの実習受入、子供ボランティアの訪問など、地域に開かれたホームを目指し、取り組んでいます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義をミーティングで話し合い、理解して全員で取り組み、管理者が纏め作成しています。外部評価の改善項目を全員で検討し、サービスの質の向上に努めています。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の開催をし、地域住民代表、地域包括センター職員、町住民生活課、民生委員、特養職員、利用者、利用者家族代表等に声をかけ、施設長・管理者とともに介し開催され、ホームの状況や、行事案内、要望・助言等話し合われています。参加者に議事録を配付しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町介護保険課・消防署とは、常に連絡を取り、ケア会議に参加、町内の特別養護老人ホームとは、相談や情報交換に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年2回発行の「グループホームびふかたより」や、毎月一人ひとりの利用者の状況を手紙にて担当者が報告しています。毎月の支払いを家族面会の重要な位置づけと考え、領収書の確認も行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会が設立され、年1回の七夕まつりで、交流に努めています。職員は家族訪問時にその都度利用者の状況の報告に努め、家族の意見、要望を気軽に言って貰える関係作りを心掛けています。意見、要望はミーティングにて話し合い、サービス向上に努めています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職は、少なく利用者の状況を考慮し、ダメージを最小限に防ぐ様に努めています。新規採用者には、状況に合わせた柔軟な体制で指導し、利用者が変わらないサービスが受けられる様、配慮しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長、管理者は研修会やケア会議の情報提供に努め、スキルアップに繋げています。職員は、他のグループホームへ研修に行き、報告書にまとめミーティングで報告し、サービスの質の向上に努めています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム協議会に加盟し、研修会等で交流の機会を持っています。管理者を含め他のグループホーム職員との相互研修の受け入れも行い、ケアの実践に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者、家族に見学をして貰い、慣れた上で利用開始となっています。場合によっては家族も2・3日宿泊することもあります。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者を人生の先輩と考え、一人ひとりの生活暦や、趣味等を把握し、畑作りや食事の準備、片付け等、力を活かした場面設定に努め共に学び、喜び支え合う関係を築いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	施設長、管理者、職員は利用者との会話の中からその時々を思いを汲み取り、困難な場合は表情や行動等により把握に努め、その人らしく暮らせる様に支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	6ヶ月ごとにケアプランを検討しています。毎日の業務日誌や申し送り記録しその都度話し合いの中で、利用者、家族と話し合い本人本位の介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	2ヶ月に一度、モニタリングを行い、日々の支援での気付きや家族の意向を踏まえて見直しを行っています。状況によってはその都度見直しがされ、現状に即した介護計画を作成しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、家族の要望や状況に応じ、通院支援、買い物支援、理美容支援、外出支援等柔軟に対応した支援を行っています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連携し、通院の際には介護記録を提供し、情報の共有と状況の把握に努めています。時間外でも相談できる体制を整え利用者、家族の安心感に繋がっています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居契約時利用者・家族に説明し医療行為が発生する場合、かかりつけ医・家族と確認し最善の方法として指針を定め、状況に応じて家族と検討し共有しています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者・職員は利用者の尊厳に配慮した言葉掛けに留意し、プライバシーに関わるケアは利用者の意向を尊重し、利用者の立場に立った支援を実践しています。個人ケア記録の記入も事務室で行い保管されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者一人ひとりの生活暦や習慣、力量等に配慮しながら、畑での収穫、調理、洗濯物たたみ、レク等希望に沿ったその人らしい暮らしの支援に努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の後片付け等を利用者の希望や状況に合わせて職員と共に取り組んでいます。利用者が育て、収穫した野菜がメニューに加えられる事もあり、利用者の楽しみとなっています。一つの食卓を囲んでの食事は家庭的な雰囲気を感じられ、和気合い合いと楽しい食事風景となっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低週2回は入浴出来るように支援しています。入浴を拒む利用者には、言葉掛けに工夫し、その日の体調や希望に合わせて柔軟に対応されています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の後片付けや茶碗拭き、洗濯物たたみ、蒔き運び等役割を担ってもらい生き甲斐に繋がっています。お花見やドライブに出掛ける事もあり利用者の楽しみや気晴らしとなっています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	健康状態や天候を考慮しながら日常的に散歩に出掛けています。スーパーでの買い物を楽しむ事もあります。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設長、管理者、職員は日中鍵の掛けないケアの大切さを理解しており、夜間のみ施錠し玄関はセンサーを使用しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回の昼間と夜間連絡訓練を兼ねた避難訓練を実施しています。回覧で近隣住民に協力を働きかけ実施できませんでしたが、引き続き取り組んでいます。	○	特定施設では、年2回の避難訓練が必要であり、昼間と夜間を想定した訓練と、近隣住民の協力への理解を深める為にも、消防署と一体での消火訓練や救急救命、連絡網の整備を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量も記録され職員で共有し、利用者一人ひとりに合わせた食事や水分の提供がされています。水分量は概ね1300ccを基本と考えています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は広くゆったりとしています。リビングと食堂が一体的になっており、程よく季節の飾りつけがされて居心地の良い暖かみのある空間になっています。廊下やリビングは床暖房になっており、事務室に蒔きストーブを設置し、共用部にランプを吊り下げレトロな雰囲気を出しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの居室には使い慣れたベットや冷蔵庫・テレビ・写真等が持ち込まれ、洗面台を設置し安心して穏やかに過ごせる様配慮されています。		